

ヘルプ PC プロジェクトについて

- 「ヘルプ PC (仮称)」プロジェクトとは何か
 - なぜ、何をしたいのか
 - どのようなものを想定しているのか

2007年7月24日

株式会社三菱総合研究所

情報技術研究センター 飯尾 淳

なぜ、何をしたいのか(1)

■ 背景

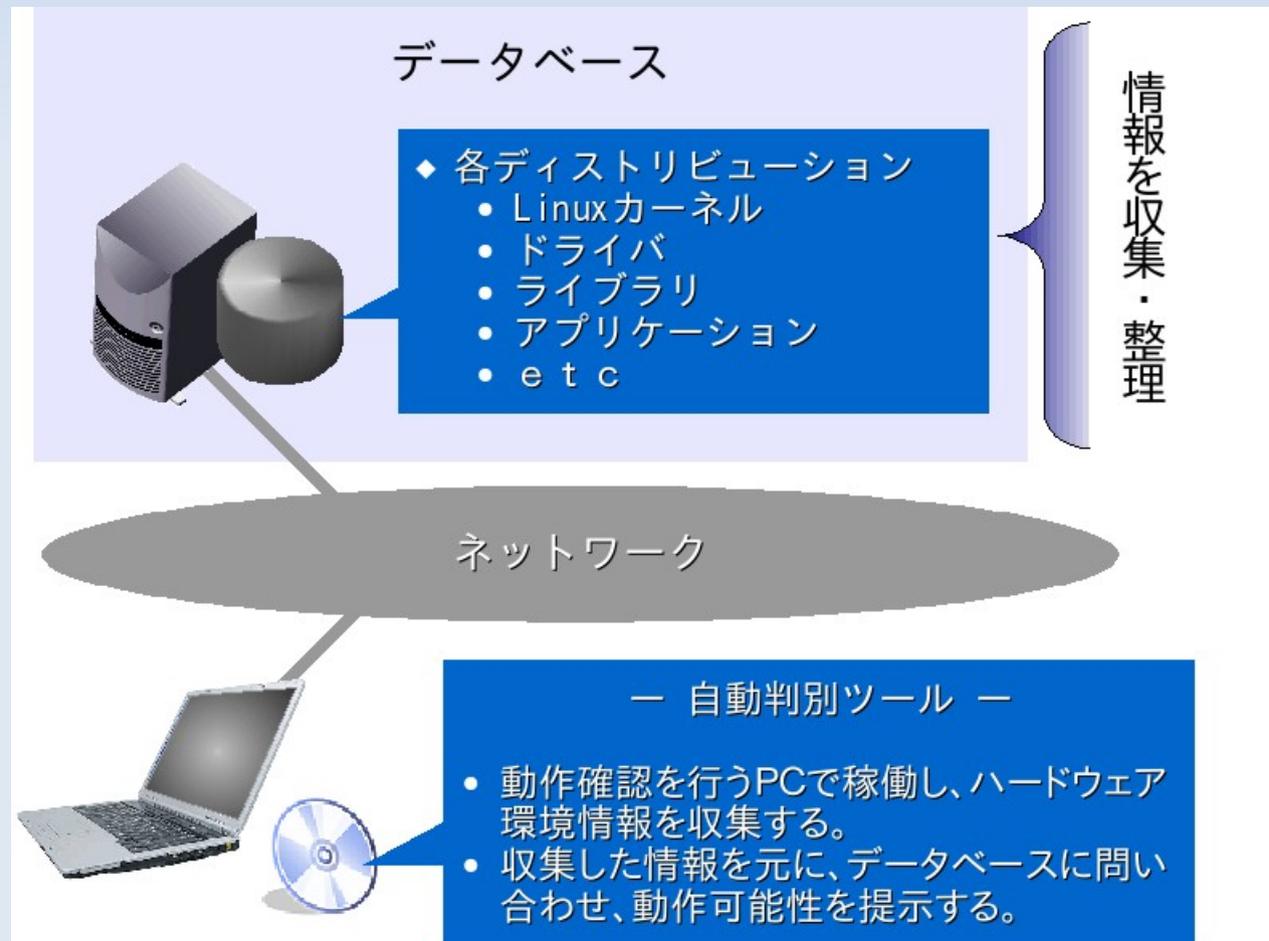
- Linux のデスクトップ利用がなかなか進まない
 - そもそもハードウェア (H/W) プリインストールがほとんどない
 - インストールしようにも、情報が、まちまち
 - HCL (Hardware Compatibility List) がネットワーク上に散逸している
 - デバイスの対応状況もよく分からない
 - デスクトップ利用ではとくに、周辺機器や H/W の情報が多様
 - サーバでは Linux のシェアはだいぶ上がってきた
 - H/W ベンダも積極的に対応しようとしている
- Linux のデスクトップ利用を推進したい
 - どうすればよいだろうか？

なぜ、何をしたいのか(2)

- HCL (Hardware Compatibility List) を集積したい
 - DB 化して、下記情報に関する利用可能性を提供する
 - ハードウェア、ディストリビューション、デバイスドライバ、アプリケーション
- DB への簡便なアクセス手段を提供したい
 - ハードウェア仕様の自動検出ツールを提供
 - CD ブートで H/W をプローブし、DB へアクセス
 - 利用可能 Linux、デバイス等の情報を提供
 - DB は、インターネット経由でもアクセス可能
 - コミュニティやユーザからの積極的な情報提供を期待

どのようなものを想定しているのか(1)

■ 利用イメージ



どのようなものを想定しているのか(2)

- 「どのハードウェア・どの周辺機器はどの Linux で動く、動かない」という情報を DB 化
 - ベンダからの情報、ユーザからの情報(生の声)をいずれも収集
 - DB のインタフェースは API を整備して提供
 - 自動検出ツールもその一環と考えられる
 - DB の情報を利用したアプリケーション開発も奨励
 - 各ディストリビューションを巻き込んで世界的に連携させたい